

CORPORATE PROFILE

株式会社ホーク



CORPORATE IDENTITY

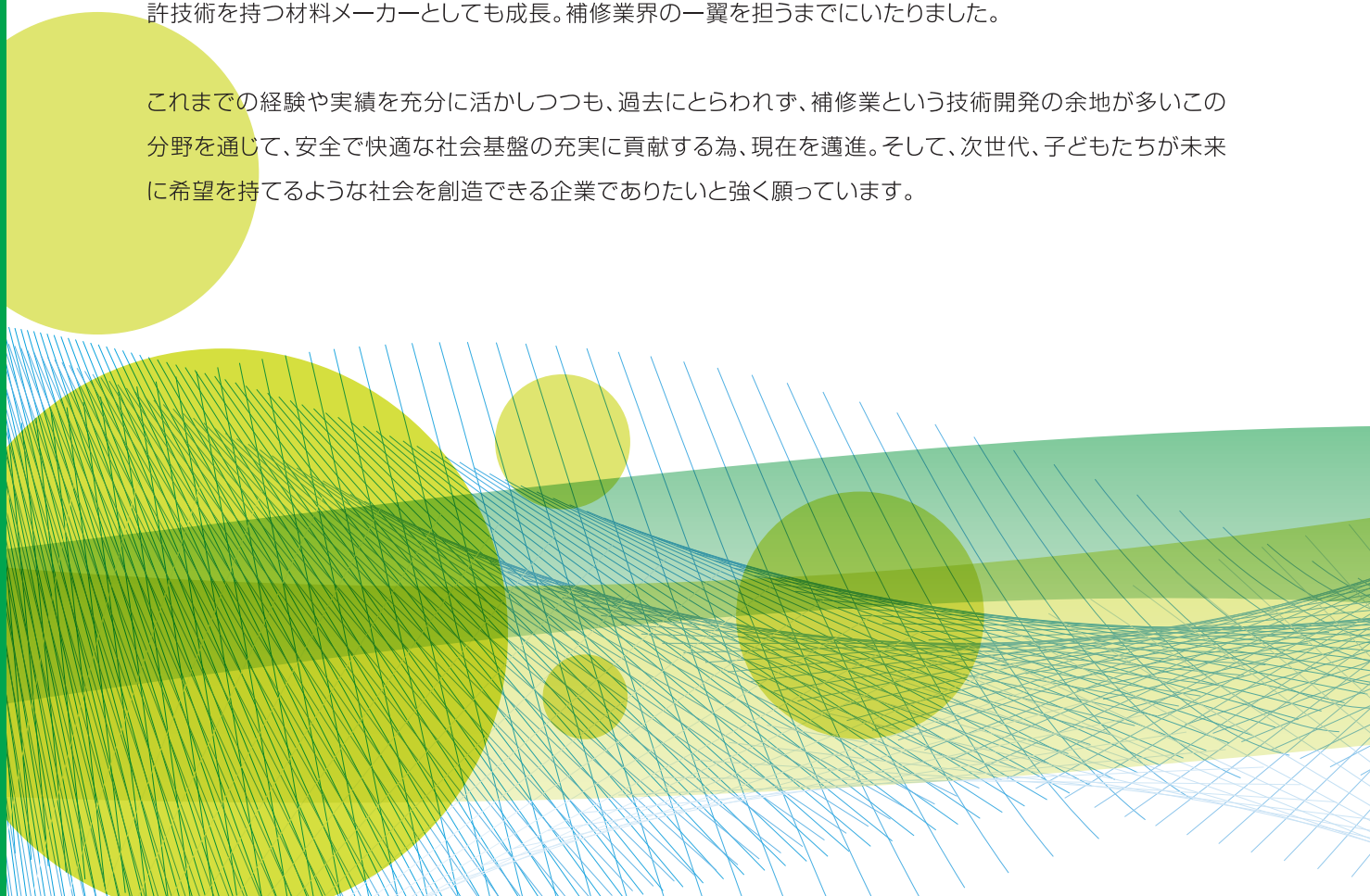
**過去にとらわれず、現在を全力で邁進。
そして、未来に希望を持てる社会の創造へ——。
私たち、株式会社ホークの誓いです。**

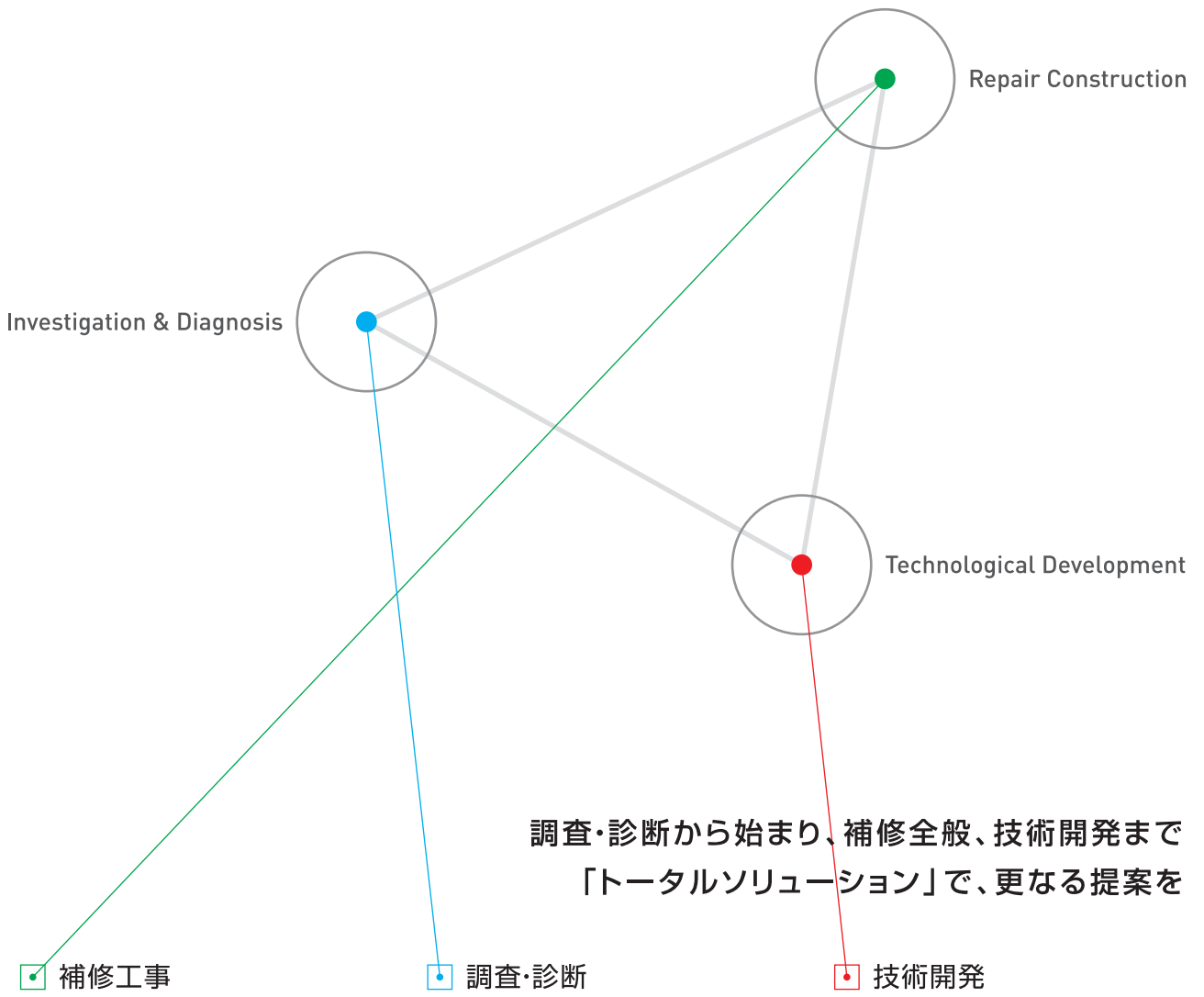
弊社は創業以来、「補修のパイオニア」としてダムやトンネル・橋梁等に代表される大型土木構造物から、高層ビルやマンション・戸建住宅にいたるまで、多種多様な補修工事を手掛けてまいりました。

同時に、それらの構造物が劣化した場合の調査・診断から設計提案といったソフト面から、実際の補修や維持・修繕工事等の現場施工といったハード面まで、多岐にわたる分野に携わってまいりました。

また、現場で培ってきた経験やノウハウを活かし、新工法や新技術の開発も積極的に行なった結果、独自の特許技術を持つ材料メーカーとしても成長。補修業界の一翼を担うまでにいたしました。

これまでの経験や実績を十分に活かしつつも、過去にとらわれず、補修業という技術開発の余地が多いこの分野を通じて、安全で快適な社会基盤の充実に貢献する為、現在を邁進。そして、次世代、子どもたちが未来に希望を持てるような社会を創造できる企業でありたいと強く願っています。

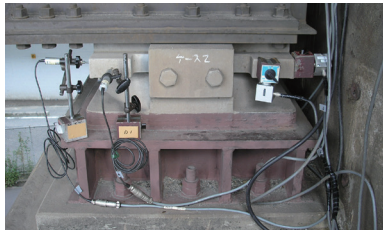




公共工事～ビル・住宅まで。最新技術で、あらゆる建造物を守ります。



高精度な調査・診断で、確かな安全と革新的なソリューションをご提供致します。



社会資本ストックに役立つ、新しい技術・工法を開発しています。



BUSINESS DEVELOPMENT

補修工事

Repair Construction

豊富な技術・ノウハウで、あらゆる建築物を補修

例えば、トンネルやダム、橋梁といった公共工事。その他にも、高層ビルやマンション、戸建住宅等、あらゆる建造物の補修を手掛けられることが、弊社最大の強みです。実際に官公庁をはじめゼネコン等、数多くのクライアント様からご相談を頂いております。その大きな理由は、創業以来培ってきた「豊富な補修ノウハウ」と、それに裏付けされた「確かな技術力」。顧客満足を追及し続けた結果、あらゆる案件に対応できる柔軟性を身に付けられた

と自負しております。
現在、時代の変化に伴い、顧客ニーズはさらに細分化されつつあります。だからこそ、その一つひとつに対して真摯に向き合い、細部まで分析・検証を重ねた上で、補修工事を行なうことが何よりも重要です。御社が今抱えておられる課題や悩みに対して、最適なソリューションをご案内させていただきます。



● 対象建築物

トンネル
ダム
橋梁
高層ビル
マンション
戸建住宅
「コンクリート構造物」及び「鋼構造物」全般

● 工事例

橋梁補修工事
トンネル補修工事
ダム補修工事
タンク補修工事
外壁補修工事
耐震補強工事
防水工事
塗装・吹付工事
ライニング工事
樋・排水パイプ工事
防音壁・フェンス工事
ガードレール取付工事

● 工事施工実績例

断面修復工
ひび割れ注入工
炭素繊維シート補強工
はく落防止対策工
コンクリート保護塗装工
防食ライニング工法(下水道施設)
補強鋼板巻立て工
一面補強工
増桁補強工
コンクリート増厚工
床版下面鋼板接着工
床版打換え工
はく落防止対策ネット工
支取替工
変位制限装置工
RC巻立て工
アラミド繊維巻立て工
伸縮装置取替工
外ケーブル工
ワイヤーソーによる切断撤去工
ウォールソーによる切断撤去工

etc.

● 各種品質管理試験例

押し抜き試験(はく落防止対策工)
付着力試験
コンクリート水分量測定
超音波探傷試験
浸透探傷試験
あと施工アンカー引抜試験
あと施工アンカー長さ測定(UT)
塗装膜厚測定
ピンホール確認試験
エポキシ樹脂物性確認試験(現場採取)
塗装膜厚測定
Jロート試験
シュミットハンマー測定 etc.

調査・診断

Investigation & Diagnosis

高精度な調査・診断を通して、「抜本的な補修」に貢献

補修工事を行なう際、最も大切なのは綿密な調査・診断を行なうことです。単純に破損した箇所を修復するだけでは意味がありません。まずは、破損の原因追究や周辺箇所への影響について考察。長年使用できる、耐久性に優れた建造物に生まれ変われるよう、隅々まで調査・診断致します。もちろん、調査・診断のみでの依頼も受け付けておりますので、お気軽にご相談ください。



● 調査例

コア採取調査
X線調査
振動調査
橋梁調査
配筋調査
クラック調査
打音・目視調査
赤外線調査
シュミットハンマー調査
中性化調査
塩分含有量調査
超音波探傷試験
ライニング付着力試験 etc.

技術開発

Technological Development

最新の技術を駆使し、独自の補修・補強材料も開発

設立から約35年。私たちはこれまで、数多くの補修工事、調査・診断を実施してきました。それらの経験をもとに、独自の補修・補強材料の開発にも着手。補修工事会社としてだけでなく、「材料メーカー」としての顔も持っており、多方面から顧客ニーズに応えることが可能です。今後も積極的に新工法・新技術の開発に取り組み、今以上に多くの「顧客満足」を提供していきたいと考えております。



● 特殊工法

横締めPC鋼棒突出防止 繊維シート接着工(PCP)
縦締めPC鋼棒突出防止 床版上面繊維シート接着工法(PCSP)
ピンニングドライ工法 (IBNETIS 登録番号:KK-Q20043-VR)
低圧樹脂注入工法
ウォーターガイド工法 (IBNETIS 登録番号:KK-O60032-A)
メッシュ導水工法

● 補修・補強材料

<コンクリート用水抜きアンカー>
ドライロックピン DLP-F833
ドライロックピン DLP-F852
<ひび割れ注入用低圧注入器>
ホークピン HK-P
ホークハーゲン HK-H
<導水用ゴム・ガイド>
導水板ゴム HK-130
導水板ゴム HK-140
<コンクリート構造物導水用ホース>
メッシュホース



<https://www.hork.co.jp/>

● 事業所

本社

〒573-0091 大阪府枚方市菊丘町9-55
TEL. 072-861-5555 FAX. 072-861-5522
E-mail:osaka@hork.co.jp

関東支店

〒231-0003 神奈川県横浜市中区北仲通1-6 ヒタチビル5F
TEL. 045-222-0050 FAX. 045-222-0051
E-mail:kanto@hork.co.jp

沖縄営業所

〒901-2114 沖縄県浦添市安波茶2-1-2 宮城ビル203
TEL. 098-870-7555 FAX. 098-870-7556

広島営業所

〒731-5128 広島県広島市佐伯区五日市中央5-2-50
TEL. 082-943-7722 FAX. 082-943-7733

● 会社概要

代表取締役社長

宮城 猛

創業

1983年3月

設立

1990年7月

資本金

44,000,000円

取引先銀行

三菱UFJ銀行
京都銀行
三井住友銀行
商工中金